「りゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という氣持ちでお届けしています。

りゅうま伝

11号
2020年10月26日
高野竜馬

「運動会と幼稚園バス」

「美味しいトコ、持っていきましたねぇ(笑)」

運動場の石灰にまみれ、肩で息をしている私に前の父兄が二ヤリとしながら話しかけてきました。それは忘れもしない5年前の10月、娘の幼稚園最後の運動会での出来事です。

親子リレーで娘からバトンを受けとった私は良いところを見せようと張り切りすぎて、頭から見事に一回転しながら転倒。園児、父兄、全ての幼稚園関係者がどよめき、ひざは擦り むけ、運動場の白線(石灰)で全身、真っ白に(笑)。

数年前に同じことをしでかした友人に「年甲斐もなく張り切るからや」と小バカにしていたことが、まさか我が身に起こるとは…。穴があったら入りたい氣分で下を向いていました。

スポーツの秋、皆様も張り切りすぎてお怪我などなさいませんよう、ご用心ください。

幼稚園行事でケガをするのはいつも父兄。あれから5年、私のせいでなのかは定かでありませんが、我が子の通う幼稚園では、親子リレーが廃止されておりました(笑)。

そして5年前の私の雪辱を晴らすため、息子しんのすけ(仮称)が「リレー」に登場です。自称、クラスで一番速いという息子はアンカーではなく、トップランナーを任されました。

先行逃げ切りを先生から指示されて、6歳ながら一人前に緊張していましたが、見事にトップでバトンを次の走者に渡せてホッとしているようでした。

それにしても年少さんから年長さんまでの走りを見ていると成長の過程が如実に現れて面白いものです。ウチの子も数年前は、あんな走り方だったなぁなどと思い出し、幼稚園最後の運動会は親にとってもセンチメンタルな氣分になります。

一方のしんのすけは今だ負けられないプレッシャーと戦っているようでした。それは、この日の結果いかんで、幼稚園バスに乗れなくなるかもしれないと親父(私)に脅されていたからです。

実はウチから幼稚園までは1km程度。バスに乗る子が多い中、入園から2年半、歩いて登園させました。

涙ながらに「みんなとバスに乗りたい」と訴えたこともありました。家内が車で送り迎えすることも多々ありましたが、やっとこの10月から最後の半年だけバス登園を認められたからです。

「ただし、運動会でだらしない結果だったらバスには乗せないからね。」と言い聞かせてきましたので息子にとっての運動会は「絶対に負けられない戦い」でもあったのです。

あいにくリレーはバトンミスもあって負けてしまいました。けれど近所の公園でよく練習してきた功績を認めてバス登園を許可しました。

毎朝、お迎えの先生に「そんなに嬉しいの?」と大爆笑されるほど笑顔でバスに乗り込むしんのすけ。一番ホッとしているのは、一緒に歩かなくて良くなった家内かもしれません。

たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里707-13
090-3407-2123
https://www.takanozaikei.com メール fp.takano@gmail.com

「りゅうま伝」(題字)は当時9歳の娘が書いてくれました。家族含め応援してくれる全ての方に感謝致します。